

令和3年度版 大野ですくすく子育て応援パッケージの実績について ～大野っ子の健やかな育ちを願って～

《妊娠期》《乳児期》
赤ちゃんを望む人へ

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
不妊治療費助成	体外受精や顕微授精等の不妊治療費助成	県の助成事業が優先されるなど、制度が複雑なため、県市の助成制度をわかりやすくまとめたチラシを作成した。郵送での受付方法をHPで周知、申請時の負担軽減に努めた。	申請:実40組 延46組 (内、懐妊:18組)	新型コロナウイルス感染症の影響から治療自体を延期するよう主治医より指示されていた方が治療開始したこと、R4年度から助成制度変更になるにあたって年度内に治療を終了させる傾向にあることが申請数が増加した要因と考える。	7,000	7,336	健康長寿課

産後のママを応援

産婦健診	産後1カ月健診費用5,000円を助成	妊娠届け出時の受診勧奨に加え、医療機関からも対象者へ受診勧奨していただくよう依頼した。	助成件数:144件	産婦のほぼ全数が受診している。	925	620	健康長寿課
母乳ケア	母乳外来費用3,000円/回を3回まで助成	必要な方の利用につながるよう、妊娠届け出時に加え、赤ちゃん訪問や育児相談会等の機会を捉えて周知を図っている。	助成件数:実27件 延57件	支援が必要な産婦の利用につながっている。	333	169	健康長寿課
	助産師の母乳相談、母乳指導	育児相談会と同時実施。予約制で助産師が個別対応を行った。	実施回数:12回 利用者数:69名	支援が必要な産婦の利用につながっている。	240	240	健康長寿課
多胎妊産婦の支援	妊娠・出産の地機器習得相談会の開催、妊産婦同士交流会の開催	助産師を講師として招き、子育て支援センターの協力を得て交流会を開催した。	実施回数:1回 参加者数:4組(妊婦とその家族1組・多胎児とその家族3組)	昨年度と同様の参加数であった。	12	10	健康長寿課
妊婦の救急車利用	緊急時に安全に医療機関へ搬送	R3.4月号の広報おおのに記事を掲載し市民に周知を図った	妊婦情報事前登録者数:113件 (内、搬送者数:4件)	妊娠届出数自体が減少傾向にあり、伴って届け出も減少傾向にある。	0	0	健康長寿課
家事援助・一時預かり	産後5カ月まで1時間の無料券10枚プレゼント	広報おおの9月号に記事掲載(利用者の声)	12人(67回)利用 ※一時預かり12回 家事援助55回	利用実人数、利用回数ともに減少しており、利用してもらえるサービスの提供が求められる。	241	95	こども支援課

赤ちゃんの健やかな育ちのために

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額(千円)	決算額(千円)	担当課
新生児聴覚検査	新生児聴覚検査費用5,600円を助成	妊娠届出時の受診勧奨に加え、医療機関からも産婦へ受診勧奨していただくよう依頼した。	助成件数:134件	新生児のほぼ全数が検査を実施している。	1,036	605	健康長寿課
チャイルドシート	購入費の1/2を助成 ※上限1万円 ※使用者6歳未満	申請時の注意点などをチラシに記載するなど、分かりやすい周知に努めた。要綱を改正し、手続きのワンスオンリー化により納税証明書の提出が不要になった。	申請件数 92件 補助金額 766,700円	昨年度同時期と比較して件数に大きな変化はないが、補助金額が減少している。価格が低いチャイルドシートの購入が増えている	1,500	766	市民生活・統計課
ブックスタート	絵本の読み聞かせ、絵本・バックのプレゼント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせをせずにプレゼントのみでも可能とし、また、保護者のみも参加を可能とした。市広報5月及び10月号に掲載し周知した。	新規対象者179人のうち103人が参加	R2年度は10月のみの実施だったが、R3度は例年通り5月と10月(計16日間実施)に実施できた。新型コロナウイルス感染が気になる保護者も多いよう参加者が少なかった。	524	439	図書館

知りたい情報を発信

知りたい情報を発信	LINE公式アカウントを開設	セグメント配信機能を活用し、子育て情報を希望する人に対し情報を発信している。	大野市LINE登録者6605人(うち子育て情報希望者1077人) 子育て情報配信件数49件	広報紙等での登録呼びかけや発信情報の充実等により、登録者が増加した。(前年同期のLINE登録者数3819人)	924	924	政策推進課 秘書広報室
-----------	----------------	--	--	--	-----	-----	----------------

《幼児期》

元気な育ちを応援

子ども医療費	医療費の窓口無料化	昨年度に引き続き、各種手続きの電子申請を推進することで保護者の利便性を図った。	受給資格者 4,036人 うち18歳未満児 3,938人 うち県内大学等通学者 98人	令和2年11月30日受給資格者数(下記)と比較し若干減少しているのは、人口減少の影響と思われる。 受給資格者 4,117人 うち18歳未満児 4,029人 うち県内大学等通学者 88人	111,215	98,101	こども支援課
インフルエンザ予防接種	予防接種費用1,000円/回を助成 ※1歳～中学3年生	医療機関に周知ポスターを掲示、広報おおのに掲載、予防接種だより(園配布)に掲載し助成内容周知を図った。	助成件数:1966件		2,944	1,966	健康長寿課
歯の健康	幼児健診時のフッ素塗布 乳幼児期の歯みがき指導	幼児健診(1歳6か月児・3歳児健診)において希望者にフッ素塗布実施。育児相談会では保健師による集団指導、幼児健診では歯科衛生士が個別指導実施。	【フッ素塗布】 ・1歳6か月児:実施165件 対象170件 ・3歳児:実施185件 対象192件 【歯科指導】 ・育児相談会:69名 ・1歳6か月児:170名 ・3歳児:192名	幼児健診にてフッ素塗布を行わなかった児は、既に歯科医院でフッ素塗布を実施しているケースがほとんどであった。	532	516	健康長寿課

安心子育て・安心保育

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
在宅での子育てを支援	在宅での子育て応援(第2子以降1万円/月支給、所得制限なし) ※満3歳まで	新生児等への周知を徹底し、適切に実施した	新規申請者 32人 支給児童 74人 支給額 3,930,000円	令和2年9月から新規事業として開始し、事業周知に努めている。県事業としては世帯年収360万円以下の世帯を対象としているが、大野市は所得制限を撤廃し、全世帯を対象として、低年齢児を家庭で子育てする世帯に支援を実施。	4,770	3,930	こども支援課
保育所・認定こども園	第3子以降保育料免除(0~2歳児対象)	世帯の状況に基づき適切に実施した。	通年で実施。国基準で保育料免除とならない児童56人の保育料を免除	3歳未満児の減少により対象者数も減少。 【国】保育園等に同時入所の第3子 【市・県】世帯の第3子	20,586	37,297	こども支援課
	第2子保育料免除(0~2歳児対象) ※所得制限なし ※R2.9月分から	世帯の状況に基づき適切に実施した。	通年で実施。国基準で保育料免除とならない135人の保育料を免除	3歳未満児の減少により対象者数も減少。 【国】生活保護世帯、非課税世帯 【県】世帯の第2子(年収約360万円未満相当世帯) 【市】世帯の第2子(所得制限なし)	35,442	31,634	こども支援課
	第3子以降の副食費(おかず代)の免除(3~5歳児対象)	世帯の状況に基づき適切に実施した。	通年で実施。国基準では副食費免除とならない114人の副食費を免除	【国】・年収約360万円未満相当世帯・保育園等に同時入所の第3子 【市・県】世帯の第3子	5,058	5,841	こども支援課
障害児保育	障がいのある子もいない子も一緒にの安心保育	例年どおり適切に実施した。	保育所、認定こども園14園の全園で障がい児の受入体制を整え、5園で9人の保育を実施	特になし	21,900	9,958	こども支援課
保護者会活動支援	活動経費の2/3を補助 ※4万円+世帯割(1,000円/世帯)	子育て中の親子で組織された団体(保護者会)等が地域での活動に要した経費の一部を補助する。	保育所、認定こども園、児童クラブ等の保護者会17団体が対象 交付件数 17件 交付額 1,300,000円	令和3年度 新規申請団体 1団体増 ・食育、地域交流、伝統行事活動にかかる経費の一部(補助率2/3 上限有)を補助	2,089	1,300	こども支援課

《学童期》
学校生活を応援

学校給食費助成	第3子以降の小中学校の給食費を無料化	取組に大きな変更はない。昨年度同様に、年度当初の申請だけではなく、年度途中での申請も随時受け付けている。	257件に交付決定 (小学校202件、中学校55件)	令和2年度実績は、265件に交付決定(小学校201件、中学校64件)であり、増減差はない。	13,850	13,328	教育総務課
給食への地元産米使用	小中学校の給食に大野市産米(コシヒカリ・いちほまれ)使用	変更点は特になし。	大野産米(コシヒカリ・いちほまれ)使用率100% ・コシヒカリ(11.12月を除く毎月) 合計463.91俵 ・いちほまれ(11.12月)合計114俵	大野産米(コシヒカリ・いちほまれ)の使用率は、令和2年度、令和3年度ともに100%を維持している。使用俵数については、令和2年度は、4月~6月の新型コロナウイルスによる休校の影響で減少していたが、令和3年度は登校日が増加したため持ち直した。	943	542	農業林業振興課

夏休みの居場所づくり

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
図書館で宿題支援	図書館で夏休みの宿題支援(小学生対象)	7/27～8/13に各学年2日間の日程で実施した。 読書感想文、工作、図書館のお仕事体験に加え、調理実習(本の中にてくるおいしい料理)を行った。 読書感想文の講師は元教員に依頼した。	1年生から6年生までを対象に実施し、79人が参加	R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により夏休み期間が短縮されたため、各学年1日だけの開催だったが、R3年度は予定どおり実施した。6年生は夏休み期間中の登校日が増える傾向にあるため、参加者が少なかった。	399	370	図書館
子どもチャレンジ教室の開催	公民館で夏休みに子どもチャレンジ教室を開催(小学生対象)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症により実施中止となった。 参加申し込み方法に電子申請を取り入れ、8人が利用して申し込みした。	7月26日(月)から30日(金)において、小山・上庄・富田・阪谷の4地区13人が参加し、乾側地区を加えた5地区公民館で実施した。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症により実施が中止となり、今年度が実質初年度となった。 夏休みに子どもが気軽に参加できるイベントが数多くあったため、募集定員には足りなかったが、充実した内容で実施できた。(夏休みの宿題やふるさと学習等の実施)	188	146	教育総務課
学習場所無料開放	公民館で快適に宿題(中学生対象)	7/26(月)～8/27(金)の間で公民館開館日の24日間実施	9公民館合計39人	R2は、8/6～8/18の間で公民館開館日の8日間実施し、9公民館合計55人の利用があった。 R3の実施に向けては、チラシに利用カレンダーのQRコードを印刷したり、公民館玄関に利用できる日の張り紙をするなど利用促進に取り組んだが、利用実績は減少した。	0	0	地域文化課
BG塾開催	海洋センターでBG塾を開催(小学生対象)	実施回数を2回に拡充して実施。 前期日程 7/26-7/30 後期日程 8/2-8/5(市内コロナ感染発生により1日減)	申込人数:前期19人、後期18人 延べ人数164人	これまで定員を超えた申込みがあったことから2回に拡充した。定員割れはしたものの、希望者全員を受け入れることができ、これまでより多くの子どもたちに「B&G」の体験を提供することができた。	130	92	スポーツ推進課

文化・スポーツ活動を支援

全国大会出場経費助成(教育活動以外)	スポーツの全国大会などの出場経費の助成 ※交通・宿泊費の1/2以内	例年どおり適切に実施した。	申請32件	新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの全国大会が実施されなかった。	1,500	940	スポーツ推進課
全国大会出場経費助成(教育活動)	小中学校の全国大会などの出場経費の助成 ※交通・宿泊費の1/2以内	変更点などは特になし。 例年どおり適切に実施している。	申請7件(夏季北信越大会1件、夏季全国大会4件、冬季全国大会2件) 北信越大会に7競技41名、全国大会に6競技31名が出場	全国大会への出場などは児童生徒の努力の結果に伴うものであり、申請数増減に大きな要因はないと考える。	1,200	1,122	教育総務課
全国大会出場経費助成(文化活動関係)	文化活動の全国大会などの出場経費の助成	—	0件	全国大会出場者がいなかったため	100	0	地域文化課
スポーツ少年団育成支援	活動補助、スポーツ安全保険加入補助、体カテスト実施補助等	令和3年度に限定して新型コロナウイルス対策に係る消耗品・備品購入補助を実施する。 その他は、例年どおり適切に実施している。	・スポーツ少年団傷害保険料補助 241,600円(800円×604名×1/2) ・スポーツ少年団育成(運営)補助 72,000円(3,000円×24団体) ・スポーツ少年団育成(指導者)補助 270,000円 ・(臨)コロナ対策補助 16団体申	6月補正にて、新型コロナウイルス対策に係る消耗品又は備品購入補助金事業を計上。	1,748	1,292	スポーツ推進課
中学生ジュニアクラブ活動支援	活動経費を補助	補助対象団体に今年度から新たにバスケットボールクラブ(Axis)を追加	申請団体数3件(昨年度2件)	補助対象団体に今年度から新たにバスケットボールクラブ(Axis)を追加	300	259	スポーツ推進課

放課後の居場所づくり

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
放課後児童クラブ	市内5児童センターにおいて放課後の児童の預かりを実施	安全な放課後の居場所の確保と児童の健全育成 ※利用料無料(長期休暇及び土曜日の利用を除く)	延べ25,798人	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自由来館として利用できる学年を曜日ごとに指定し密集を避け、放課後児童クラブの利用児童の安全な居場所の確保に努めた。 ・昨年同時期と比較して、延べ人数が4,164人増加した。 【要因】・長期休業期間が平常日数に戻り、クラブ利用日数も平常に戻ったため。	10,487	10,089	こども支援課
放課後子ども教室	放課後の居場所づくり ※利用者増に対応	昨年度と同じく新型コロナウイルス対策を行いながら、適切に実施している。	小山地区、乾側地区、上庄地区、富田地区、阪谷地区で実施 延べ27,622人	昨年度と比べて新型コロナウイルスの影響が少なかった。また、放課後子ども教室の登録者数が増加したため。	20,529	16,532	生涯学習・文化財保護課

自然ふれあい探検隊

自然ふれあい探検隊2021	魅力あふれる豊かな自然環境を探検(体験的に学習)する環境教室の実施	夏休み期間中の事業は、市民団体等が実施する類似事業と重複を避けるため、日程調整をした。	実施回数:3回 参加者数:児童 のべ56人 保護者 のべ52人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4回予定していた事業のうち、1回を中止したほか、定員を少なくするなど対応したが、昨年度(1回予定がコロナで中止し、0回)よりも多く開催したため、参加者が増加した。	473	436	環境・水循環課
---------------	-----------------------------------	---	---------------------------------------	--	-----	-----	---------

《遊び場》

大野っ子の遊び場

木の薫る遊び場づくり支援	認定こども園等に国産材玩具の購入を補助	認定こども園等への要望調査の結果、事業費を増額した。	公立保育園等 6園 認定こども園等10園	※令和3年度新規事業のため、該当なし	748	748	農業林業振興課
奥越ふれあい公園	木製遊具をリニューアル	工事施工、工事完了	R3.6月に供用開始	-	-	-	建設整備課
道の駅「越前おおの 荒島の郷」	キッズコーナーの整備	-	キッズコーナー運営開始	-	-	-	産業政策課
エキサイト広場総合体育施設	アリーナなどの無料開放	夏期・冬期2回実施 夏期日程:7/1~8/31 冬期日程:12/20~2/28 冬期よりランニングコースのみ開放としヘルスウォーキング参加者へのポイント付与を追加	夏・冬期無料開放利用者数 784人	令和3年夏・冬期無料開放では784人の利用で微増である。 施設無料開放が市民に周知されつつあり、ヘルスウォーキングなど健康づくりが浸透しつつある。 コロナ禍ではあるが、今後も増加が期待できる。	28,799	29,147	スポーツ推進課
市内商店街等 (ショッピングモールVIO)	親子で行きたくなる商店街の取り組みなどを支援		・モールウォーキングの実施 ・SNSや情報発信拠点を活用した情報発信	-	660	660	産業政策課

《若者・保護者》
地域が応援

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
世代を超えた交流	集会所などを利用して世代間交流事業を行う自治会などに補助	—	0件	コロナ渦により集会所に寄り集まるのが難しいため事業申請がなかった	828	0	地域文化課
安全安心な環境	若者・親子の防災キャンプ体験	予定通り実施	市内の親子や若い世代62名	特になし	359	285	防災防犯課
	防犯カメラ設置費用を助成	地域の要望により設置	2自治会に助成を行い、防犯カメラを2台設置	特になし	300	196	防災防犯課

新婚・子育て世帯の住環境を支援

低所得者の婚姻に伴う新生活に対する支援	住宅賃貸費用又は引越費用を助成	令和3年度新規事業として開始。新婚世帯に事業案内を送付する等周知の徹底に努めた。	交付件数 5件		7,500	2,335	子ども支援課
子育て世帯や新婚世帯に対する空き家暮らしを支援	空き家の購入とリフォーム費用を助成	変更点なし	申請3件中子育て世帯1件	今年度より子育て世帯に補助を拡充したため制度の利用につながった。	8,035	7,265	交通住宅・まちづくり課
3世代同居・近居・新築住宅取得を支援	・3世代同居・住宅リフォーム費用を助成 ・3世代同居・近居・新築住宅取得費用を助成	変更点なし	3世代同居 新築4件 Uターン近居 新築1件 3世代リフォーム 5件	目立った増減なし	上の事業と合算		交通住宅・まちづくり課

職場が応援

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
子育てと仕事を無理なく両立	働く人にやさしい企業を支援 (子育て世代にやさしい企業の認定)	「働く人にやさしい企業」については、働き方改革に1年間取り組む必要があり、R2はコロナ感染症拡大の中、取り組むことは困難であるとし、新規募集を中止した。R3～は基準を満たしていれば「認定」するよう制度を簡素化し、市認定後は、国や県の認定取得に向け支援していく形とした。 「子育て世代にやさしい企業」は、R2同様に実施。	働く人にやさしい企業 8社認定 子育て世代にやさしい企業 9社認定 (うち、5社は両認定取得)	特になし	300	270	産業政策課
	働く人にやさしい企業を支援 (子育てサポート企業として国や県の認定を受ける企業を支援)	特になし	年度末に、大野商工会議所より実績報告予定	特になし	700	700	産業政策課
	働く人にやさしい企業を支援 (男性従業員の育児のための休暇取得などに取り組む企業を支援)	特になし	・育児休業等の代替要員雇用補助 交付実績:1事業所3名(1,977千円) ・男性従業員の育児休暇取得補助 交付実績:2事業所2名(200千円)	特になし	3,180	2,914	産業政策課
起業・創業を後押し	・チャレンジする事業者を支援 ・女性の創業を支援	事業の対象範囲を大野市立地適正化計画で位置づける都市機能誘導区域の空き店舗等に限定した。 Vioの空き店舗を対象とした店舗改修費用の補助を追加。	実績なし	R3年度も新型コロナの影響が続き、創業に向けた機運が上昇しづらい状況であること	4,900	0	産業政策課

《男性の育児参加》
ママとパパで協力子育て

取組み	事業の内容	令和3年度中の対応等	令和3年度実績(最終)	特記事項(実績増加又は減少の要因)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	担当課
男女共同参画「子育て講座」	大野っ子ママもパパも一緒に子育て講座開催	特になし	11月23日に「おとう飯始めよう！秋の簡単料理教室」を実施 親子5組12名参加	令和2年度は6組15名参加	190	190	総務課
支援センター主催講座	子育て支援センターで「お父さんと遊ぼう」の開催	①8/21(土): 新型コロナウイルス感染拡大のため、中止(講師:おっとふぁーざー館氏)。 ②10/16(土): 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開催(お父さんと運動会)。	お父さんと運動会 19組(父19、母19、子20)参加。	お父さん参加促進のための講座を2回企画し、うち1回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、お父さんと運動会は体育館で実施し、両親と子が参加したため、令和2年度と比較し参加者数が増加した。	15	0	こども支援課

《子育て応援機関(きめ細かな支援)》

急な病気の時も安心	休日急患診療所の小児救急診療	休日の小児救急医療の診療体制を確保する	小児科 診療日数:71日 患者数:687人	R2:449人 R3:687人 未就学児の新型コロナウイルス・オミクロン変異株の感染率が高くなったことにより、受診率が増加した。	96,290	90,672	健康長寿課
子育て相談や子育て親子の交流の場	地域子育て支援センターでの子育て相談など (月2回 土曜日半日開所)	(継続実施) ・R2.6月～子育て家庭の利便性の向上(土曜開所/月2回) ・R3.1月～オンライン子育て相談の開始	利用者数:保護者3,558人、子ども3,914人、合計5,248人 (うち土曜日の利用者:保護者216人、子ども276人、合計492人 (うち父親利用者56人))	・10月16日(土)に「お父さんと運動会」を開催し、19組の父母と子の参加があった。 ・父親の利用者が増加した(土曜日等)。 ・市LINEセグメント配信、市報を活用し広報に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3.8.6～9.12までイベントのみ中止としたため、利用者(見込)が減少した。	9,557	8,630	こども支援課
	子育て交流ひろば「ちっく・たっく」での子育て相談など	(継続実施) ・子育て家庭が使用しやすい環境を整え、利用促進を図った。	利用者数:保護者2,171人、子ども2,375人、合計4,546人	・行事の事前告知や実施状況、消毒などの対応等について、事業所独自のLINEやインスタ、市報を活用し広報に努め、コロナ禍でも、利用しやすい環境を整えた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3.8.6～9.12までイベントのみ中止としたため、利用者(見込)が減少した。	9,795	9,712	こども支援課
ワンストップ相談窓口	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援	妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対し、ワンストップで切れ目のないサポートを行う。	妊娠期から子育て期までの特に気がかりな事例については、重点的に支援を行っている。	保育所等への巡回や育児相談会での子どもの様子を確認し、月1回定例会にて関係課が連携し、状況把握や支援方針の検討を行い、継続支援を行った。	4,381	4,254	こども支援課 (健康長寿課)
専門的な療育支援、発達・発育相談	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業の実施	発達に関する相談や指導、児童発達支援などのサービスを提供することで、専門的な療育支援を行った。	延利用者数:11月末実績 576人 相談件数:11月末実績 222人	障害児通所支援の利用者数は減少しているが、センターでの相談件数が伸びており、センター利用総数としては増加した。	27,120	27,079	こども支援課